

令和6年1月12日

教育局高校教育課

県政記者クラブ 各位

令和6年度県立中学校入学者選抜適性検査における採点上の対応について

令和6年1月6日（土）に実施しましたこのことについて、以下のとおりお知らせいたします。

1 内容

標記適性検査は、「小学校等の教育課程に基づく学習によって身につけた総合的な力」をみるものとしており、小学校等で学んだ内容をベースに出題することとしている。

こうした中、今回出題した理科に関する問題において、県内で使用する一部の教科書では、出版社が6年生の1月上旬～2月中旬に扱うものとの目安を示している単元から出題していることが判明した。

小学校等が当該目安のとおり授業を実施している場合、未習のまま受検している児童がいる可能性があり、公平性を確保する観点から、該当の検査問題について、全受検者に一律加点（10点）した上で、合格者を決定することとした。

2 該当の検査問題

大問3の1(1)、(2)リトマス紙に関する知識・思考力等を問う問題（別紙）

〔配点は(1)4点、(2)は6点〕

問合せ先 教育局高校教育課

課長補佐 黒木 晃

電話 023-630-3106

報道監 教育局長 庄司 雅人

3 太郎さんの家族は、ショッピングモールに来ています。あとの1～5の問いに答えましょう。

1 太郎さんとお父さんは、「夏休み自由研究相談会」に行き、水よう液の性質について、次の「問題」にちょう戦しました。太郎さんは、リトマス紙を使った実験の結果を、あとの「表」にまとめました。

問題

無色とう明の水よう液①～⑤が、ビーカーにそれぞれ50 mLずつ入っています。水よう液①～⑤は、「食塩水」「炭酸水」「うすい水酸化ナトリウム水よう液」「うすい塩酸」のいずれかです。

まず、リトマス紙を使って実験をおこなうと、どのような結果になりますか。また、①水よう液をすべて見分けるためには、ほかにどのような実験をおこなえばよいですか。

表

水よう液	①	②	③	④
リトマス紙を使った実験の結果	(A)	(B)	(C)	(D)
水よう液の正体	炭酸水またはうすい塩酸	食塩水	炭酸水またはうすい塩酸	うすい水酸化ナトリウム水よう液

(1) (A) ～ (D) にあてはまるものを、次のア～ウの中からそれぞれ選び、記号で書きましょう。

- ア 青色リトマス紙が赤色になった
- イ 赤色リトマス紙が青色になった
- ウ 変わらない

(2) 下線部①について、リトマス紙を使った実験だけでは、炭酸水なのか、うすい塩酸なのかを見分けることができませんでした。見分けるためには、どのような実験をおこなえばよいですか。見分けるための実験方法を二つ書きましょう。また、実験をおこなったときの、炭酸水とうすい塩酸それぞれの結果を書きましょう。